

# 101号からのあゆみ

平成24年

平成25年

平成26年

平成27年

平成31年

## 30周年記念号発行(141号)

身近な存在の警察署、消防署、各種支援施設、教育関連施設などの施設長へのインタビューを交えての連載がスタートしました。お仕事の話だけでなく、プライベートについてもお話しいただき、それぞれの方のお人柄にも触れる機会をいただきました。

## ⑩ 所長さん・校長先生・園長先生

### こんにちはシリーズ(117〜139号)

9月1日「防災の日」にちなんで、家庭の防災について特集しました。品川区が配布する「わが家の防災ハンドブック」の内容を簡潔にまとめ、また、地区防災訓練や、具体的な対策について紹介しました。

## ⑨ わが家の防災(114〜116号)

街を歩くと思いがけず美しい景観やひっそりたずむ史跡などを目にする機会があります。そんな小さな感動に出会うきっかけになればと編集委員がそれぞれオススメの散歩道を紹介しました。

## ⑧ 私のオススメ散歩道紹介(106〜113号)

街に若い世代の家族連れの姿が多く見られ、保育園への送り迎えの図は微笑ましい日常の1コマです。そこで就学前施設の紹介を始めました。

## ⑦ わが街の保育園・幼稚園紹介(96〜104号)

## これからもよろしくお願ひします！

編集委員一同

・テーマを考える  
・記事を書く  
・見直す  
編集委員としての業務は無意識のうちに頭や手足の運動になります。お陰さまで(ほとんど)五体満足の日々を過ごしています。皆さんも仲間になりませんか！

編集委員 中村直彦

私が「地域活動」に関わるようになったスタートが『はなぐるま』の編集委員でした。それまではPTA活動しかしていなかったのですが偶然知り合った方からお誘いを受けたのがきっかけでした。初めは不安もありましたが、はじめてみたらとても居心地がよく、気が付いたら忘れるぐらい長く活動を続けています。

編集委員 服部美代子

生まれは西国ですが、10回程の転居で漂着したこの地の足回りの良さに納得して20年余りが過ぎ、今では終の住処はここと決めています。私的にはこの街が、緑の風が吹きぬける、清潔感のある街に育って行って欲しいと願っています。

編集長 久保田公二

いちば橋の由来も知らなかった私がこの地域に興味を持ったきっかけが『はなぐるま』です。

編集会議では地域に馴染み深い委員の方の話を興味深く伺っています。また、人と人が繋がる活動を知り、自分も一端を担えたらと思うようになりました。

編集委員 清水陽子



後列左から

本田・金原委員・小林委員・佐藤・清水委員

前列左から

服部委員・久保田編集長・中村委員

品川生まれ、品川育ちですが、今まで知らずにいた地域の事を『はなぐるま』にて楽しく知ることができています。このように勉強させていただく機会を得て、感謝しております。

編集委員 小林純子

『はなぐるま』の30周年という、節目の時に携わらせていただいたのも、何かのご縁かと思えます。中原児童センターの職員として、この地域の事を学びながら、活動に関わらせていただけたことに感謝します。

編集委員 金原亜貴代

大崎第一地区の情報発信誌30周年の節目に携われたことをうれしく思います。平成生まれの『はなぐるま』を通じて、新しい時代も読者の皆様と地域情報のキャッチボールを続けていきたいと願っております。今後ともよろしくお願ひします。

事務局 佐藤和彦

今回このような記念号に携わることができ大変うれしく思っております。まだまだ若輩者の私なので、品川区の歴史を学ぶ良い機会になったと思えます。この機会を次に生かしてまた、歴史に残る取組みをしていきたいです。

事務局 本田大気